



2019年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年4月26日

上場会社名 ナブテスコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6268 URL http://www.nabtesco.com
 代表者（役職名）代表取締役（氏名）寺本 克弘
 問合せ先責任者（役職名）コーポレート・コミュニケーション部長（氏名）黒須 昭仁（TEL）03-5213-1134
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（電話会議、機関投資家・アナリスト向け）

（表示単位未満四捨五入）

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第1四半期	70,272	△2.3	6,155	△8.3	7,387	△40.1	4,703	△52.8	4,084	△57.1	5,375	△30.3
18年12月期第1四半期	71,954	12.3	6,713	10.7	12,338	46.3	9,959	50.7	9,520	47.3	7,712	40.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
19年12月期第1四半期	32.93	32.92
18年12月期第1四半期	76.82	76.80

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
19年12月期第1四半期	337,278	189,453	178,762	53.0
18年12月期	328,568	189,255	178,702	54.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
18年12月期	—	36.00	—	37.00	73.00
19年12月期	—	—	—	—	—
19年12月期（予想）	—	36.00	—	37.00	73.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	146,000	2.4	10,300	61.3	12,300	△5.7	7,600	△3.6	61.31
通期	313,000	6.2	30,000	37.1	33,600	12.1	22,900	8.9	184.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

19年12月期1Q	125,133,799株	18年12月期	125,133,799株
19年12月期1Q	1,047,506株	18年12月期	1,154,403株
19年12月期1Q	124,025,075株	18年12月期1Q	123,918,729株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	5
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
4. 補足情報	14
(1) セグメント別受注残高	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、中国での建設機械需要及び国内を中心とした自動ドア事業が好調に推移した一方、精密減速機需要が引続き低調に推移したことにより、売上高は70,272百万円、営業利益は6,155百万円となりました。税引前四半期利益は、持分法による投資利益が減少したことにより、7,387百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,084百万円となりました。

① 受注高、売上高、営業利益

当第1四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比4,233百万円(5.7%)増加し78,211百万円となりました。売上高は、前年同期比1,682百万円(△2.3%)減少し70,272百万円となり、営業利益は、前年同期比557百万円(△8.3%)減少し6,155百万円となりました。売上高営業利益率は8.8%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

【受注高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	30,183	29,574	△2.0
トランスポートソリューション事業	20,420	23,072	13.0
アクセシビリティソリューション事業	18,651	20,640	10.7
その他	4,724	4,925	4.3
合計	73,978	78,211	5.7

【売上高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	29,388	27,043	△8.0
トランスポートソリューション事業	18,513	18,729	1.2
アクセシビリティソリューション事業	19,680	20,788	5.6
その他	4,373	3,713	△15.1
合計	71,954	70,272	△2.3

【営業利益】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	5,254	4,038	△23.1
トランスポートソリューション事業	1,562	1,298	△16.9
アクセシビリティソリューション事業	1,370	2,185	59.5
その他	660	513	△22.2
全社または消去	△2,133	△1,880	—
合計	6,713	6,155	△8.3

【コンポーネントソリューション事業】

コンポーネントソリューション事業の受注高は、前年同期比609百万円（△2.0%）減少し29,574百万円となりました。売上高は、同2,345百万円（△8.0%）減少し27,043百万円、営業利益は、同1,216百万円（△23.1%）減少し4,038百万円となりました。

精密減速機は、主に自動車向け設備投資等の延期により、売上高は前年同期比減収となりました。油圧機器は、中国市場における建設機械需要の高まりが継続したことにより、売上高は前年同期比増収となりました。

【トランスポートソリューション事業】

トランスポートソリューション事業の受注高は、前年同期比2,652百万円（13.0%）増加し23,072百万円となりました。売上高は、同216百万円（1.2%）増加し18,729百万円、営業利益は、同263百万円（△16.9%）減少し1,298百万円となりました。

鉄道車両用機器は、中国高速鉄道向けは国産化進行により減少しましたが、中国地下鉄向けの増加によりカバーし、売上高は前年同期比横ばいとなりました。航空機器は、主に民間航空機向けの増産により、前年同期比増収となりました。商用車用機器は、国内及び東南アジア市場が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比横ばいとなりました。船用機器では、市況の緩やかな回復傾向により、売上高は前年同期比増収となりました。

【アクセシビリティソリューション事業】

アクセシビリティソリューション事業の受注高は、前年同期比1,989百万円（10.7%）増加し20,640百万円となりました。売上高は、同1,108百万円（5.6%）増加し20,788百万円、営業利益は、同815百万円（59.5%）増加し2,185百万円となりました。

自動ドア事業は、堅調な国内の需要により、売上高は前年同期比増収となりました。

【その他】

その他の受注高は、前年同期比201百万円（4.3%）増加し4,925百万円となりました。売上高は、同660百万円（△15.1%）減少し3,713百万円、営業利益は、同146百万円（△22.2%）減少し513百万円となりました。

包装機は、一部案件の期ずれにより、売上高は前年同期比減収となりました。

(参考) 地域ごとの情報

【売上高】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	増減率(%)
日本	41,015	40,159	△2.1
中国	10,394	11,708	12.6
その他アジア	4,904	3,086	△37.1
北米	4,697	5,076	8.1
ヨーロッパ	10,620	9,745	△8.2
その他地域	324	499	53.8
合計	71,954	70,272	△2.3

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

2 中国向けの売上増は主に油圧機器の増加によるものです。

② 税引前四半期利益

金融収益は、主に為替差益の発生により171百万円、金融費用は、主に支払利息等により68百万円となりました。持分法による投資利益は、前年同期において持分法適用関連会社を実施した新株発行及び自己株式の処分等により純資産額が著しく増加したことによる利益が、当第1四半期連結累計期間では発生しなかったこと等により、前年同期比5,059百万円（△81.8%）減少し1,128百万円となりました。その結果、税引前四半期利益は7,387百万円と前年同期比4,951百万円（△40.1%）の減少となりました。

③ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

以上の結果、法人所得税費用2,684百万円及び非支配持分に帰属する四半期利益619百万円を差引いた親会社の所有者に帰属する四半期利益は、4,084百万円と前年同期比5,436百万円（△57.1%）の減少となりました。

また、基本的1株当たり四半期利益は前年同期比43.89円減少し、32.93円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2018年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2019年3月31日)	増減額
資産	328,568	337,278	8,710
負債	139,313	147,824	8,512
資本	189,255	189,453	199

【資産】

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は174,799百万円、非流動資産は162,479百万円であり、その結果、資産合計は337,278百万円と前連結会計年度末比8,710百万円の増加となりました。主な増加要因は、IFRS第16号「リース」適用開始による使用権資産の増加9,320百万円です。

【負債】

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は114,523百万円、非流動負債は33,301百万円であり、その結果、負債合計は147,824百万円と前連結会計年度末比8,512百万円の増加となりました。主な増加要因は、IFRS第16号「リース」適用開始によるリース負債の増加8,693百万円です。

【資本】

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は189,453百万円となりました。親会社の所有者に帰属する持分合計は178,762百万円と前連結会計年度末比60百万円の増加となりました。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益4,084百万円に伴う利益剰余金の増加、及び公正価値の変動による評価差額の増加等によるその他の資本の構成要素の増加486百万円です。一方、主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少4,597百万円です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社グループは、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という)を適用しています。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日(2019年1月1日)に認識する方法を採用しています。

当社グループは、IFRS第16号C3項の実務上の便法を使用し、過去にIAS第17号「リース」(以下、「IAS第17号」という)及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについて、その判断を引き継いで適用開始日より使用権資産及びリース負債を認識しています。

① リース負債

リース負債は、リースの開始日より認識し、支払われていないリース料の現在価値で測定しています。開始日後はリース負債に係る金利やリース料の支払いにより増減します。

② 使用権資産

使用権資産は、リースの開始日よりリース負債の当初測定額に、当初直接コスト、前払リース料等を調整した取得原価で測定しています。開始日後においては、原価モデルを適用して、減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した額で測定しています。リースの開始日から使用権資産の耐用年数又はリース期間の終了時のいずれか短い期間にわたり定額法にて償却しています。

なお、過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、IFRS第16号C10項(d)の実務上の便法を使用し、当初直接コストを適用開始日の使用権資産の測定から除外しています。

また、短期リース及び原資産が少額であるリースについては、認識の免除を適用し、使用権資産及びリース負債を認識せず、リース期間にわたり定額法により費用として認識しています。

当社グループは、IFRS第16号の適用に伴い、適用開始日において使用権資産9,832百万円及びリース負債9,233百万円を認識しています。

なお、IFRS第16号の適用により営業利益等に与える重要な影響はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		54,039	51,603
営業債権		74,952	71,655
契約資産		1,650	1,444
その他の債権		1,643	1,079
棚卸資産		43,592	46,542
その他の金融資産		280	257
その他の流動資産		2,969	2,220
流動資産合計		179,124	174,799
非流動資産			
有形固定資産		80,573	84,689
無形資産		5,076	5,048
使用権資産		—	9,320
のれん		15,512	15,382
投資不動産		5,382	3,984
持分法で会計処理されている投資		29,641	30,979
その他の金融資産		9,558	9,956
繰延税金資産		2,012	2,097
その他の非流動資産		1,690	1,024
非流動資産合計		149,443	162,479
資産合計		328,568	337,278

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務		50,297	48,739
契約負債		5,232	7,452
社債及び借入金		34,067	30,532
その他の債務		11,809	13,386
未払法人所得税		3,479	2,545
引当金		1,625	1,621
リース負債		—	2,096
その他の金融負債		—	0
その他の流動負債		6,048	8,152
流動負債合計		112,558	114,523
非流動負債			
社債及び借入金		11,243	11,190
リース負債		—	6,596
退職給付に係る負債		9,142	9,198
繰延税金負債		4,881	4,925
その他の非流動負債		1,490	1,391
非流動負債合計		26,755	33,301
負債合計		139,313	147,824
資本			
資本金		10,000	10,000
資本剰余金		15,096	14,939
利益剰余金		155,133	154,611
自己株式		△2,903	△2,650
その他の資本の構成要素		1,377	1,862
親会社の所有者に帰属する持分合計		178,702	178,762
非支配持分		10,553	10,692
資本合計		189,255	189,453
負債及び資本合計		328,568	337,278

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	2	71,954	70,272
売上原価		△51,770	△51,262
売上総利益		20,184	19,010
その他の収益		535	391
販売費及び一般管理費		△13,935	△13,044
その他の費用		△72	△202
営業利益	2	6,713	6,155
金融収益		52	171
金融費用		△613	△68
持分法による投資利益		6,187	1,128
税引前四半期利益		12,338	7,387
法人所得税費用		△2,380	△2,684
四半期利益		9,959	4,703
四半期利益の帰属 親会社の所有者		9,520	4,084
非支配持分		439	619
四半期利益		9,959	4,703
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		76.82	32.93
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		76.80	32.92

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期利益		9,959	4,703
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動		△247	231
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分		6	364
純損益に振り替えられることのない 項目合計		△241	594
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		△2,006	77
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計		△2,006	77
税引後その他の包括利益合計		△2,247	672
四半期包括利益合計		7,712	5,375
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		7,430	4,596
非支配持分		282	778
四半期包括利益合計		7,712	5,375

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2018年1月1日残高		10,000	14,956	143,349	△3,600	△773	3,604
四半期利益		—	—	9,520	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△1,851	△262
四半期包括利益合計		—	—	9,520	—	△1,851	△262
自己株式の取得及び処分等		—	—	△32	133	—	—
配当金		—	—	△4,720	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	23	—	—	—
株式報酬取引		—	△12	—	—	—	—
その他		—	—	—	496	—	—
所有者との取引額等合計		—	△12	△4,729	629	—	—
2018年3月31日残高		10,000	14,944	148,139	△2,971	△2,623	3,342

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2018年1月1日残高		—	2,831	167,537	9,465	177,002
四半期利益		—	—	9,520	439	9,959
その他の包括利益		23	△2,090	△2,090	△157	△2,247
四半期包括利益合計		23	△2,090	7,430	282	7,712
自己株式の取得及び処分等		—	—	100	—	100
配当金		—	—	△4,720	△273	△4,992
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		△23	△23	—	—	—
株式報酬取引		—	—	△12	—	△12
その他		—	—	496	—	496
所有者との取引額等合計		△23	△23	△4,134	△273	△4,407
2018年3月31日残高		—	719	170,832	9,474	180,306

当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2019年1月1日残高		10,000	15,096	155,133	△2,903	△2,887	4,264
四半期利益		—	—	4,084	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△81	597
四半期包括利益合計		—	—	4,084	—	△81	597
自己株式の取得及び処分等		—	—	△35	253	—	—
配当金		—	—	△4,597	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	27	—	—	△30
株式報酬取引		—	△157	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	△157	△4,606	253	—	△30
2019年3月31日残高		10,000	14,939	154,611	△2,650	△2,968	4,831

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2019年1月1日残高		—	1,377	178,702	10,553	189,255
四半期利益		—	—	4,084	619	4,703
その他の包括利益		△3	513	513	159	672
四半期包括利益合計		△3	513	4,596	778	5,375
自己株式の取得及び処分等		—	—	218	—	218
配当金		—	—	△4,597	△640	△5,237
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		3	△27	—	—	—
株式報酬取引		—	—	△157	—	△157
所有者との取引額等合計		3	△27	△4,537	△640	△5,176
2019年3月31日残高		—	1,862	178,762	10,692	189,453

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 事業セグメント

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ビジネスモデルの類似性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「コンポーネントソリューション事業」、「トランスポートソリューション事業」、「アクセシビリティソリューション事業」の3報告セグメントに区分しています。

各報告セグメントの区分に属する主な事業内容は以下のとおりです。

事業区分	主な事業内容
コンポーネントソリューション事業	産業用ロボット部品、建設機械用機器等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
トランスポートソリューション事業	鉄道車両用ブレーキ装置・自動扉装置、航空機部品、自動車用ブレーキ装置・駆動制御装置、船用制御装置等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
アクセシビリティソリューション事業	建物及び一般産業用自動扉装置、プラットフォーム安全設備等及びこれらの部品の設計、製造、販売、据付、保守、修理

(2) 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	29,388	18,513	19,680	67,581	4,373	71,954	—	71,954
セグメント間売上高	571	135	2	709	65	773	△773	—
売上高合計	29,959	18,649	19,682	68,290	4,437	72,727	△773	71,954
セグメント利益 (営業利益)	5,254	1,562	1,370	8,186	660	8,846	△2,133	6,713
金融収益				—				52
金融費用				—				△613
持分法による投資利益				—				6,187
税引前四半期利益				—				12,338

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、真空機械、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	27,043	18,729	20,788	66,559	3,713	70,272	—	70,272
セグメント間売上高	626	219	1	847	67	914	△914	—
売上高合計	27,669	18,948	20,789	67,406	3,780	71,186	△914	70,272
セグメント利益 (営業利益)	4,038	1,298	2,185	7,522	513	8,035	△1,880	6,155
金融収益				—				171
金融費用				—				△68
持分法による投資利益				—				1,128
税引前四半期利益				—				7,387

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

4. 補足情報

(1) セグメント別受注残高

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間末 (2018年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2019年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンポーネントソリューション事業	29,376	24.2	26,548	20.8
トランスポートソリューション事業	52,990	43.7	60,353	47.4
アクセシビリティソリューション事業	30,779	25.3	30,610	24.0
その他	8,226	6.8	9,976	7.8
合計	121,371	100.0	127,487	100.0